

県議会 おおいた

No. 71

平成20年9月発行
大分県議会

編集 大分県議会事務局
大分市大手町3丁目1-1
☎ 097-506-5035
(ダイヤルイン)
FAX 097-506-1785

題字は、大分県立別府青山高等学校3年 荒金和佳子さんの作品です。

■県議会ホームページURL(アドレス) <http://www.pref.oita.jp/21000/>

平成20年第2回定例会 1
主な質問答弁要旨 2
県民に身近でわかりやすい県議会をめざして 4
県議会の動き 6

議員と語ろうイン北部地域 大分県議会



出前県議会に出席した発表者の皆さんと

平成20年第2回定例会

第2回定例会県議会は、6月17日に開会し、7月1日までの15日間にわたり開催した。

開会后、冒頭に広瀬知事及び波多野教育委員長から教員採用に係る贈収賄容疑で県教育委員会職員等が逮捕され、教育行政に対する県民の信頼を裏切ったことについて陳謝があった。

阿部議長からの諸般の報告に続き、牧野議会運営委員長から本会議での議論の内容を県民にわかりやすくするため、質問答弁方式に一問一答方式や分割方式を取り入れるための県議会会議規則の一部改正が提案され、可決された。

広瀬知事から、①地震減災プランの策定、②道路特定財源を巡る動き、③大分県農業協同組合を後押しするフォローアップ委員会の設置の報告がなされ、条例改正等の提案理由説明があった。

6月23日から3日間にわたって行われた一般質問には、12名の議員が登壇し、福祉、医療、農林水産、教育等の問題について、8名の議員が一問一答方式で、4名の議員が分割方式で質問を行い活発な議論が行われた。

傍聴者にはテンポもよく、議論の内容がわかりやすいと好評だったが、白熱した議論のために予定していた質問を省かなければならなかった議員もいた。今後検討すべき課題もあったが、県民に身近でわかりやすい県議会の大きな一歩を踏み出した。

各常任委員会は、6月26日に開催し、付託された議案・請願について具体的な審査を行った。

最終日には、各常任委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、知事提出議案が原案どおり可決・同意され、提出された請願2件が採択された。その後、議員提出議案等11件が提出され、9件を可決し、今定例会に付議されたすべての審議を終了した。



今年度から始めた議員出前講座が7月8日、大分県立大分東高等学校で行われ、一年生157人に議会の仕組みや役割などを説明した。(4ページ)

7月18日には、宇佐市で出前県議会を行い、北部地域の振興について活発な意見交換がされた。(5ページ)

一般質問

質問項目は、一人2項目を掲載しています。



県民クラブ
賀来 和紘 議員

地球温暖化対策
後期高齢者医療制度



自由民主党
大友 一夫 議員

道路特定財源
指定管理者制度



県民クラブ
久原 和弘 議員

高校後期再編整備計画
農業問題



自由民主党
嶋 幸一 議員

社会資本の維持管理
教育行政



自由民主党
首藤 勝次 議員

小規模集落対策
畜産振興



県民クラブ
深津 栄一 議員

ひきこもり対策
有害鳥獣対策



自由民主党
佐々木 哲也 議員

地方分権改革
農業分野への企業誘致



自由民主党
佐藤 健太郎 議員

地震防災対策
漁村の振興



県民クラブ
首藤 隆憲 議員

行財政改革
観光振興



無所属の会
高村 清志 議員

ものづくり産業の振興策
人材育成・人材確保策



自由民主党
毛利 正徳 議員

防災体制づくり
民間人校長の活用



公明党
河野 成司 議員

少子高齢化問題
格差社会問題

問 国民体育大会・国民障害者スポーツ大会閉会後のボランティア・マスケット「めじろん」の活用

答 両大会開催を通じて良い宝物ができた。

一つは県民総参加で盛り上げるため各地でボランティアが活躍していること。これからも地域の発展のため活動していただきたい。

もう一つは、めじろん。県の鳥「めじろん」にちなんで大分県の天然自然の豊かさを象徴し、「かわいくてガンバル」一所懸命さを表現したものとして大会のPRに活躍している。

両大会開催を知らなくても、めじろんを知っている人が多い。

折角の財産だから県のPRや地域の皆さんの元気の象徴として活用できないか、県民の皆さんのご意見を聞きながら検討する。



問 人材確保のためのU・Iターン対策

答 大分市に「おおいた人材Uターンセンター」を設置するとともに人材定住情報システムを活用したマッチングに取り組んでいる。このシステムを利用して19年度は110名の方が県内企業に就職した。

20年度、新たに就職支援ウェブサイトを構築して、県内企業のやりがいのある仕事や求める人材像などの情報発信に取り組むことにしている。大都市部でのU・Iターンフェアについては、18年度から福岡市で実施しているが、東京での開催を望む



企業もあり、実施について検討する。

問 学校施設の耐震診断及び耐震改修計画について

答

耐震診断及び耐震改修計画

	簡易な耐震診断を含めた診断率	耐震化率	今後の方針
県立学校	100.0%	66.9%	今後5年以内を目途に改修する。特に、大規模地震で倒壊の危険性が高い建物については、最優先する。
公立小・中学校	99.4%	60.1%	地震防災特別措置法が改正され国庫補助率が引き上げられた。市町村に対し、積極的に働きかけをしていく。

可決・承認された議案 (議員提出)

意見書 (7件)

▽森林・林業・木材産業施策の積極的な展開を求める意見書

▽道路整備財源の確保に関する意見書

▽急傾斜地崩落対策事業における採択基準の緩和を求める意見書

▽長寿医療制度(後期高齢者医療制度)に関する意見書

▽「嫡出推定」に関する民法改正と救済対象の拡大を求める意見書

▽携帯電話リサイクルの推進を求める意見書

▽地球温暖化防止に向けた国民的運動の推進を求める意見書

可決された議案 (委員会提出)

規則関係 (1件)

▽大分県議会議規則の一部改正について

意見書 (2件)

▽行政書士に行政不服審査法に係る不服審査手続の代理権の付与を求める意見書

▽船舶事故による漁業被害救済基金創設及び法制度の整備を求める意見書

意見書は、議長名で衆参両院議長、内閣総理大臣及び担当大臣あて送付しました。

採択された請願

▽船舶の所有者等の責任の制限に関する法律の適用海域における船舶事故被害対策としての

基金創設を求める意見書の提出について

▽行政書士に行政不服審査法に係る不服審査手続の代理権の付与を求める意見書の提出について

可決・承認された主な議案等 (知事提出)

条例関係 (7件)

▽大分県条例の一部改正について

報告 (4件)

▽平成19年度大分県一般会計補正予算(第4号)について

その他 (4件)

▽工事委託契約の変更について

県議会の傍聴

本会議や委員会の傍聴をご希望の方は、日程を確認の上、当日、県議会受付までおいでください。なお、本会議場での傍聴については、盲導犬等の同伴ができません。

手話通訳又は要約筆記を希望される方は、本会議の前日までにお申し出ください。

■問い合わせ先…議会議務局議事課
☎097-506-5021

県民に

身近でわかりやすい

県議会をめざして

政策・活性化協議会の動き

5月30日に阿部議長から次のテーマについて諮問を受けた。

- 一 政策条例の検討
 - ①食と農林水産業の振興条例
 - ②ものづくり振興条例
 - ③防災対策推進条例
 - ④基本計画議会議決条例
 - ⑤議会基本条例
- 二 政策提言の検討
 - ①道州制について
 - ②自治基本条例について
- 三 議会改革の検討
 - ①議案質問日の設定及び一般質問枠について
 - ②定例会の召集回数及び会期の見直しについて
 - ③議員調査（県内外・海外）について

◆先進事例調査

7月14日～15日、「ものづくり振興条例」と「基本計画議会議決条例」の調査研究のため群馬県を、「食と農林水産業の振興条例」の調査研究のため長野県を訪問した。

群馬県では、製造業を中心とするものづくり産業の基盤強化と、新産業の創出を目的に、全国で初めて「群馬県ものづくり・新産業創出基本条例」を平成13年に、20年3月には「行政に係る基本計画の議決等に関する条例」を制定した。また、長野県では農産物産出額の伸び悩みに危機感を持った議員が「食と農業農村振興の県民条例」を制定した。条例制定に伴う課題など大いに参考になった。



群馬県議会で説明を受ける政策活性化協議会の委員

生徒の声

- 人のために働いている議員さんを見て感動しました。私の夢は、警察官になることなので、議員さんみたいに世に貢献できる人になりたい。(香下 華澄さん)
- 大人になったらしっかりと税を納め、選挙にもちゃんと行きたい。(西山 茄菜恵さん)
- 今、県のためにできることは、学校で色々な知識を得ること。勉強を頑張りたい。(赤塚 千佳さん)
- 議員さんも一所懸命、大分を変えようと頑張っている。私たちも何か小さな事でも良いので役に立ちたい。(小野 佳緒里さん)
- 普段の学校生活で校則などしっかりと守るようにして、社会生活でもそのことを生かしていきたい。(河野 道子さん)
- 少年ソフトボールで国体強化のために支援していただき、ありがたく思っている。応援してくださっている大分県の人に感謝の気持ちを込めて優勝に向かって日々努力する。(井原 晴己さん)
- 議員に対して、堅いイメージを持っていたが、親しみやすく、楽しく講座を聴くことができた。(田口 佳弥さん)
- 大分県民として社会のため大きな目標を持って高校生活を過ごしたい。(姫野 良和さん)
- 教育に係る経費が莫大だとわかった。公共のものである東高校を大切にしていきたい。社会に出て、恥ずかしくない大人になりたい。(芝崎 真由さん)

議員出前講座

大分東高等学校

7月8日に県立大分東高等学校（花宮邦高校長）で阿部議長と2人の広報委員、平岩純子議員、堤栄三議員、文教警察委員長の麻生栄作議員が一年生157名を対象に県議会の仕組みや予算などについて説明し、その後、意見交換を行った。



出前県議会「議員と語ろう」 イン北部地域」

「県北部（中津市、豊後高田市、宇佐市）の地域振興」をテーマに、地域の各分野で活躍されている10名の方々と県議会から阿部議長、近藤副議長、広報委員や地元議員13名が出席し、活発な意見交換が行われた。



中津市地域総合相談支援センターソーシャルワーカー

恒任 徹さん

高齢者や障害者等の相談事業をしているが、地域のつながりが希薄になっている。

合併で福祉サービスを一元化したのが、地域にあった施策やシステムづくりが、地域格差を少なくする。



社会福祉法人こころの樹理事長

寄村 仁子さん

障害者自立支援法による、障がい者に対する様々な就労施策は評価するが、障がいが多い方々の対策が不十分。

地域によって福祉サービスの種類等に差がある。地域任せではなく県が関与してほしい。



NPO法人水辺に遊ぶ会理事長

足利 由紀子さん

中津干潟及び豊前海の環境、生物調査、海岸清掃等を通じて、地域の自然に関心を持つ人を増やし、海の環境を改善する活動をしている。海は国・県・市という縦割りではなく、漁業、土木、環境などの横のつながりで保全することが望ましい。



松本イモリ谷苦楽分・まつぼっくり農園

荷宮 英二さん

小学校の統合が問題となつている。将来の地域づくりを担う人づくりのためにも学校の問題は重要である。

地域の担い手確保のため、村おこしを行う公益的事業が必要である。このため企業組合法人「百笑一喜」を立ち上げた。



農業

吉澤 貴樹さん

農業に夢と希望を持って飛び込んだ若者も多数いるので、サポートをお願いする。

県は農業産出額を上げるための政策を推進しているが、振興作目以外の作目づくりにも、支援をしてほしい。



農業

仲井 貞一さん

燃油や肥料の高騰は個々の農家の努力の限界を超えている。食の安全の確保と食料自給率を上げるため、農業に補助金をつけてほしい。

県と農業団体は一体となつて、農業で頑張っている人に手厚い支援をしてほしい。



久恒森林株式会社専務

久恒 雄一郎さん

木材の利用促進が進んでも、環境保全など山の持つ多面的機能を守れない。環境や景観にやさしい林業活動の支援をしてほしい。

林業は環境・建築・バイオなど他産業とも関係が深い。県の資源価値を高めるため、組織横断的な取り組みをしてほしい。



浜の輪フレンド

岡崎 都さん

地元を元気に、中津の名産をつくりたいという思いで、県の「ワンコインふるさと求評会」に応募した。「ベタの一夜干し」と「ベタのからから干し」が2年連続最優秀となった。

地域の活性化のため設備を拡充したいので、県の指導や補助をお願いしたい。



豊後高田市昭和の町新町2丁目商店街会長

清末 浩一さん

若手を中心に起業家のネットワークづくりを進めているが、ネットの一つがファイナンス。

民間で資金調達できる仕組みを考えている。民間が基本だが、行政のバックアップもお願いしたい。



宇佐市工業連合会会長

岡本 勝美さん

自動車産業の経済効果は大きく、県民に自動車関連産業の下請けにチャレンジするようアピールしてほしい。

地場企業に進出企業並みの有利な融資が受けられるよう補助制度を設けてほしい。

県議会の動き

今後の動き

◆特別委員会開催

- ・地域・産業活性化特別委員会
8月28日(木)
- ・行財政改革特別委員会
安全・安心な大分づくり特別委員会
9月9日(火)
- ・おおいたブランド推進特別委員会
9月9日(火)

◆出前県議会「議員と語るライン西部地域」の開催

- 日時 11月18日(火)
13時～15時30分
- 場所 日田市 パトリア日田
ターマ 県西部の地域振興
傍聴 どなたでも傍聴できます。
是非ご参加ください。

議会事務局政策調査課

☎097150615034

◆平20年第3回定例会の日程(予定)

- 8月27日(水)開会
- 9月2日(火)本会議(一般質問)
- 3日(水)本会議(一般質問)
- 4日(木)本会議(一般質問)
- 5日(金)常任委員会
- 8日(月)文教警察委員会
- 10日(水)閉会

これまでの動き

◆特別委員会の動き

- ・行財政改革特別委員会
6月27日(金)
- ・県立病院、企業局、地域づくり
機構の取り組み、指定管理者の
更新
- ・地域・産業活性化特別委員会
6月9日(月)
- ・県境行政の推進、小規模集落対策
- ・安全・安心な大分づくり特別委員会
6月13日(金)
- ・地球温暖化対策、環境教育、大気・
水環境の保全、循環型環境産業
の育成、森林吸収源対策、資源
循環型の農林水産業の取り組み

・おおいたブランド推進特別委員会

- 6月27日(金)
- ・自然の風景等の観光資源を活用
した取り組み、ツーリズムの推
進、九州観光推進機構との連携、
宇佐・国東八幡文化遺産登録の
取り組み、スポーツの振興、東
アジア諸国との交通の推進、留
学生等を活用したネットワーク
の強化

全員協議会開催

8月18日、県議会議員による要望活動の制限等について、全員協議会を開催した。

阿部議長から、教員採用などに関する議員の口利き行為の問題や議会の監視機能の強化等について提案を行った。これに対し、各会派が討論を行い、採決した。「県民不信を招くことのない議員活動を誓う宣言(案)」は、第3回定例会初日に決議することとし、8月27日決議を行った。

この他、議長が議会運営委員会に諮問して、監視機能の強化策を具体化する必要な改革を行うことや、文教警察委員会において、教育委員会の汚職事件について集中審議を行うことを決めた。

県議会本会議中継

インターネットによる中継のほか、次のケーブルテレビ局で中継を行っています。

- 大分ケーブルテレコム
 - 大分ケーブルネットワーク
 - CTBメディア(別府市・日出町)
 - 臼杵ケーブルネット
 - KCVコミュニケーションズ(日田市)
- (放送時間等は各局にご確認ください)

県民不信を招くことのない議員活動を誓う宣言

今回の教育委員会の汚職事件は、県民にとって青天の霹靂である。行政執行の監視機関である県議会としての役割を果たせなかったこと、そして教員採用に関しての一部議員の口利き問題が県議会に対する県民不信を招いたことを県議会として反省し、県民の負託に応えていかななくてはならない。

そこで、県議会としては、県の職員の採用や昇任及び転任、さらには入学試験、各種資格試験等に関して特定の者の利益になるような議員活動を禁止することにより、県民の県議会に対する信頼の回復を図る。

もとより議員活動は、議員が自らの政治信条と責任で行うべきものである。我々議員は、県民の皆様率直な要望をこの宣言で閉ざすことなく政治活動を行うことを確認するとともに、県民不信を招くことのない議員活動に努めることをここに誓う。

編集後記

今号から題字は、大分県高等学校文化連盟のご協力により、高校生に揮毫していただくことになりました。県議会の新たな取り組みについても掲載しています。皆様方のご意見をお待ちしております。(貴)